



できごと

4月23日(月)は「子ども読書の日」、そして、23日から5月12日(土)は、「こどもの読書週間」です。

「子ども読書の日」に合わせて、静岡県立中央図書館のホームページ(この右上にURLがあります。)内に、子ども図書研究室のページがオープンしました。

また、子ども図書研究室では、子どもと子どもの本をつなぐ活動をされている皆さんを支援するために、今年も講演会や講座をはじめとする様々な事業を計画しています。

裏面では、子ども図書研究室ページの紹介と、子ども図書研究室の今年1年間の予定を、現在決まっている中からお知らせします。

子ども図書研究室のテーマ展示

ただいま展示中です!

「日本のおばけの絵本」

「白雪姫」と「眠り姫」の本

新着図書も常時展示中です。

イベント情報

たのしいえほんがやってくる!!

えほんフェスタ ~1日児童図書館~

中伊豆図書館では、大きな絵本やしかけ絵本など、めずらしい絵本を集め展示します。また、おはなし会も行いますので、みなさん遊びにきてください!

日時: 5月26日(土) 9:00 ~ 15:30

場所: 伊豆市八幡 500-1

伊豆市立中伊豆図書館

おはなし会(1回 20分程度)

幼児から低学年 10:30 ~、13:30 ~

高学年から 11:00 ~、14:00 ~

新着資料から

絵本

『ハエくん』



グスティノ / さく

木坂 涼 / やく

フレーベル館

2007年1月

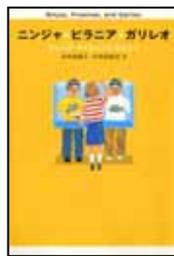
待ちに待ったある日、ハエくんはうきうきわくわく泳ぎに出かける。日焼け止めクリームにビーチマット…。泳ぎを楽しむハエくんだったが、一天にわかにかき曇り、「何か」がハエくんめがけて落ちてきた。「どっぼ~ん!」

コラージュで表現されたハエくんは、体のあちこちにネジ頭が見え、ユーモラスで愛らしい。終わりまで読んだその後で、ページを戻って、そこに描かれていた一つ一つを確認したくなる。

世界的に有名なビーチリゾートを有するメキシコらしい絵本。【5、6歳から】 (鈴木由)

物語

『ニンジャ×ピラニア×ガリレオ』



ポプラ・リアル・シリーズ 4

グレッグ・ライティック・スミス / 作

小田島 則子・小田島 恒志 / 訳

ポプラ社

2007年2月

几帳面な少年イライアスと陽気な少年ショーヘイ、優等生の少女ホノリアは親友同士。3人は「サイエンスフェア」へ参加することになるが、お互いを想う気持ちのすれ違いもあり、微妙な距離感が生じる。気まずい雰囲気の中、フェアの実験結果が疑われたイライアスは、一悶着の後、「生徒法廷」へ出廷を命じられてしまう。

男女間で揺れる友情と、わだかまりがとけて、より強くなる絆の物語。それぞれの視点からテンポよく話が進み、3人の内面や心情の変化がよく伝わってくる。【中学生から】 (渡辺勝)

平成 19 年度の 子ども図書研究室

子ども図書研究室ページについて

4月16日、静岡県立中央図書館のホームページ内に子ども図書研究室ページがオープンした。

これまでも、この『子ども図書研究室だより』は、県立中央図書館のトップページ上にリンクが張られていたが、今後は、子ども図書研究室ページから一覧を表示し、そこからたどることができるほか、読み聞かせに人気の大型絵本の所蔵一覧や、講座・講演会のお知らせ、研究室内の展示の案内も見る事ができる。

今後は、展示図書リストなども掲載し、より充実した内容にしていきたい。

講演会について

今年度の「子ども図書研究室講演会」は、「グリム童話とアンデルセン童話のうそと真実の姿 「白雪姫」「眠り姫」「人魚姫」「親指姫」の絵本とアニメに生じている不幸な誤解とゆがみ」と題して、慶応義塾大学名誉教授の宮下啓三先生にお話しいただく。

現在、図書館や書店には同じタイトルでも数多くの絵本が並び、その中でどの絵本を選べばよいのか悩むことも多い。講演では、実際に絵本を比較するとともに、映像を交えてアニメーション・絵本との比較も行う。

日時は6月28日(木)午後1時30分～3時30分。募集はおよそ1か月前から開始する。募集開始時には、県立中央図書館やグランシップ県立図書館コーナー「えほんのひろば」内に掲示するほか、県内市町立図書館や、当館ホームページ、メールマガジンなどでもお知らせする。

季節の展示とテーマ展示

子ども図書研究室では現在、夏休みに向けて「おばけの本」を展示している。子ども図書研究室内の季節の展示は、おはなし会やブック

トークの参考になるように、実際の季節に先駆けてテーマを設定している。

今後は、「美術」や「チョコレート」の本などの展示も予定している。また、昨年と同様、「一番新しいクリスマスとお正月の本」として、昨年度と本年度に出版されたクリスマス、お正月に関する本も展示する予定である。

テーマ展示は、講演会のテーマに合わせ、年間のテーマを「読み比べ」とした。既に年度当初より「ももたろうの本」として、子ども図書研究室所蔵の「ももたろう」絵本などを展示したが、現在は、講演会でも取り上げる「白雪姫」と「眠り姫」を展示している。続いて、「人魚姫」「親指姫」のほか、「かにむかし」や新美南吉作品なども取り上げる予定である。

また、夏休みには、課題図書等についても展示する。

講座について

今年度も2回の講座を予定している。

これまで春に行っていた講座の開催時期を秋に変更した。日程は、秋の講座が9月・10月、冬の講座が12月・1月(平成20年)の予定。いずれも水曜日コースと土曜日コースがあり、2回連続の講座となる。

内容は、「ミニブックトーク」と「おはなし会プログラム」を予定しているが、詳細は改めてお知らせする。

今後も、詳細が決まり次第、随時お伝えしていく。この『子ども図書研究室だより』や県内市町立図書館でのお知らせ、ホームページや県立中央図書館メールマガジンなどにご注目いただきたい。

(鈴木由)

*今年度より、「子ども図書研究室だより」は隔月刊となりました。子どもの本に関する情報は「静岡県立中央図書館だより」にも掲載しますので、併せてご覧ください。

*表紙画像はすべて出版社の許可を得て掲載しています。